

公立大学法人岐阜県立看護大学 平成25年度の業務の実績に関する評価結果の概要

1 公立大学法人の評価制度

県は、公立大学法人岐阜県立看護大学（以下「法人」という。）が6年間で達成すべき目標（以下「中期目標」という。）を定め、これに対し法人は、中期目標を達成するための計画（以下「中期計画」という。）を作成し、中期計画に従って6年間の業務運営を自主的・自律的に行う一方で、法人の業務の実績を第三者機関である評価委員会が事後に評価する制度が設けられました。

評価委員会は、法人が6年間で中期目標を達成できたか評価することになりますが、各事業年度においても、中期計画の実施状況を評価し、中期目標の達成に向けて順調に進んでいるかをチェックすることになっています。

2 評価結果の概要

全体評価 A（中期目標の達成に向けて順調に進んでいる）

| | |
|---|--|
| S | 中期目標の達成に向けて特筆すべき進捗状況にある（評価委員会が特に認める場合） |
| A | 中期目標の達成に向けて順調に進んでいる |
| B | 中期目標の達成に向けておおむね順調に進んでいる |
| C | 中期目標の達成のためにはやや遅れている |
| D | 中期目標の達成のためには重大な遅れがある |

| 大項目 | 評価の内容（特筆すべき点・課題） | |
|---------------|------------------|---|
| 大学の教育研究等の質の向上 | 特筆すべき点 | <ul style="list-style-type: none"> ○国家試験合格率が看護師、保健師、助産師の3資格すべてにおいて全国平均を上回っており、教育水準の高さを表している。 ○自習室改装により利用者が3倍に増加している。今後も学生の主体的学習を促すような学習環境の整備を進められたい。 ○共同研究、看護実践研究指導事業は現場からの評判が高く、県内看護サービスの質の向上に貢献している。 |
| | 課題 | <ul style="list-style-type: none"> ○県内高校への大学紹介のDVDの配布や、県内医療機関へのパンフレットの配布など学生の確保に向けた広報活動について更なる充実を図られたい。 ○県内就職率の向上を望む。 |
| 業務運営の改善及び効率化 | 特筆すべき点 | <ul style="list-style-type: none"> ○県内の看護系大学が増加するなど看護学生の育成に向けた環境が変化する中で、いち早く新たな大学の将来ビジョンの作成に着手しており評価できる。 ○社会的な問題ともなっていたSNSに関する研修を実施するなど、社会情勢の変化に素早く対応している。 |
| | 課題 | <ul style="list-style-type: none"> ○学生・職員の安否確認体制の徹底や、学生への取り組みを含めた危機管理マニュアルの作成など、危機管理体制の早期充実を図られたい。 ○教員評価制度の構築を進められたい。 |
| 財務内容の改善 | 特筆すべき点 | <ul style="list-style-type: none"> ○職員への財務情報の周知や管理的経費の1%削減達成など経費の抑制に対する努力が伺われる。 |
| 自己点検・情報公開 | 特筆すべき点 | <ul style="list-style-type: none"> ○大学にとって重要な広報媒体であるホームページのリニューアルを進めていることは評価できる。 |